諫早市立上諫早小学校　学校だより NO．７

ありがとうの輪

～上諫早小から～

R8．１１．１７　文責　校長　横田　和重

学校教育目標

「創造性に富み、人間性豊かで心身ともにたくましい児童の育成」

令和８年度スローガン

「ありがとうがいっぱいの上諫早小に」

「○○の秋」、お子さんはどんな秋を過ごしていますか？



　爽やかな秋晴れが続き、気持ちの良い季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より学校を温かく支えていただきありがとうございます。

　「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」…秋にはさまざまな形容詞がつきますが、ご家庭や地域でお子さんの「秋」を見つけたことはありますか？

　学校では、夢中で本を開く姿、校庭を元気に駆け回る姿、秋の落ち葉やススキを見つけて夢中に観察する姿など、それぞれの「夢中」を楽しむ表情が見られます。何かにじっくり取り組み、深めるのに最適なこの季節。学校では、子どもたちが「自分で考え、挑戦する楽しさ」を実感できる授業や活動を工夫してまいります。

　ぜひご家庭でも、お子さんが今どんなことに夢中になっているか、秋の夜長に耳を傾け、お子さんと話をしてみませんか？

10月（後半）～11月（前半）歳時記　～充実の秋に向かって～

　学校だより NO.５でもお伝えしましたが、２学期のキーワードは「充実」です。充実した毎日を過ごせるように、いろいろな活動に力を入れています。（今回は地域の行事も含んでいます。）

16日（11/9にも実施）縦割り遊び



小規模の学校では、縦のつながりはとても大事です。高学年の児童が上手に運営しています。

17日　本明町秋祭り



本明町では、子どもたちが浮立を披露していました。地域の伝統を受け継いでほしいですね。

19日　2年生小小連携



北諫早小の２年生と一緒に、生活科で作ったいろいろなおもちゃで交流をしました。

19日　北中合唱コンクール



６年生が毎年参観している北中合唱コンクール。中学生の歌声に圧倒されました。

22日　北ブロック音楽会



３・４年生が参加した音楽会。大規模校にも負けない気持ちのこもった歌と合奏を届けました。音楽を通して他校とも交流ができました。

27日　小体連



前日の臨時休業により開催が危ぶまれましたが、当日は出場した６年生一人一人が全力を尽くしました。

30日　長縄タイム



体力づくりの一環として、３分間で長縄を何回跳べるか、各学年で記録に挑戦しました。一番よい記録はやっぱり６年生でした。

11月1日　目代町秋祭り



目代町の秋祭りにお邪魔しました。天満太鼓の披露もあり、感動的な１日でした。（天満太鼓に参加している本校児童もいます。）

4日・11日　3・4年福祉体験



３・４年生では総合的な学習で福祉について学んでいます。車椅子体験などを行いました。※写真はボッチャ体験の様子

13日　スポーツレジェンド事業



日大中学校野球部外部コーチでもある峰様をお迎えし、３・４年生はベースボール型ゲームの基礎を学びました。

16日　薬物乱用防止教室



６年生は、学校薬剤師の合田先生の話から、大麻やたばこなど薬物に対する考えを深めました。

この他にも、１・２年生は１１月１０日に芋掘りを行いました。土に触れ、地域の方の支えや収穫の喜びを味わうことで、豊かな心を育むことができました。（写真が撮れずにごめんね）



「可愛想（あい）をもって想像する」ということ　～松永信也様と過ごした温かな時間～

１１月２日（月）に、地域の方のご協力のもと、日本視覚障害者団体連合・同行援護事業所等連絡会の会長を務める松永信也（のぶや）様をお迎えし、講演会を開催しました。松永様のご体験に基づく心温まるお話は、子どもたちの心に深く届く大変貴重なものとなりました。

講演の中で印象的だったのは、「かわいそう」という言葉の捉え方です。松永様は「可愛想」という漢字を当てはめ、「愛情をもって相手の状況を想像し、障害や困難について正しく知ること」の大切さをお話しくださいました。



また、困っている人を見かけたときには、「大丈夫ですか」と聞くのではなく、「お手伝いしましょうか」「どのように手伝うといいですか」と順序立てて尋ねる具体的な声かけを教えていただきました。相手の立場に立った寄り添い方が、子どもたちの心にしっかりと刻まれました。



更に、ゲーム等の目の疲労を防ぐ「２０分画面を見たら２０秒間２０フィート（約６m）先を見る」習慣も教えていただきました。点字トランプや音声時計などの紹介もあり、休み時間には子どもたちが松永様のもとへ集まり、楽しそうに質問する姿が印象的でした。

松永様、素敵な時間をありがとうございました。

なお、松永様は、執筆活動にも精力的に取り組まれております。興味がある方は「松永信也　本」で検索されてみてください。素敵な本に出会えると思います。